

ごあいさつ

平成 16 年（2004 年）10 月 1 日に 2 町合併で誕生した湖南省には、旧両町の整備してきた施設がそのまま引き継がれました。この結果、本市は数多くの施設を保有することとなりましたが、その多くは 1970 年代から 1980 年代にかけて建設されたものです。それらの施設群は老朽化が進んでおり、年々維持管理に係る経費が増えていく傾向にあります。しかも、今後、老朽化施設の建て替えや大規模修繕が必要となってきますが、それが一時期に集中することから、漫然と対応していると市の財政を圧迫することになります。そればかりか、人口減少局面を迎え、少子高齢化により担税人口が縮小していることは、今のままでの施設の維持を難しくするだけでなく、将来世代にとっても重い負担を残すことにつながります。

本市においては、平成 23 年（2011 年）8 月に「第二次湖南省行政改革大綱」を、平成 24 年（2012 年）3 月に「きらめき湖南創造プラン（第二次湖南省行政改革大綱実施計画）」を策定し、持続可能な行政運営を目指して取り組みを進めてきました。

第二次行政改革では、「公共施設の在り方の見直し」をその最優先改革事項に掲げておりますが、市民ニーズを踏まえながらも、将来を見通したより効率的な行政運営を行うためには、施設の総量縮減を前提とした統廃合や施設配置の適正化など抜本的な見直しを行い、維持管理方法や運営方法についても最も適切な選択をするなど、健全な財政運営に向けて大きく舵を切る必要があります。

そこで、現在、市が保有している施設の機能、利用率、維持管理経費、老朽化の状況などを明らかにすることにより、本当に必要な施設であるのかどうかを市民が将来負担も含めて適切に検証議論をしていただくための基礎的な資料として、「湖南省公共施設白書」を策定しました。施設の現状をご覧いただき、将来世代の負担も含めて、真剣な議論をいただきたいと思っております。

市民協働による住民自治と持続可能な行政経営をより具体化するため、この「湖南省公共施設白書」をもとにして、今後、施設の適切な配置のあり方や維持管理方法、運営方法などについて様々な視点から検討を行ってまいります。

次の世代に先送りすることの許されない、私たち現役世代の責任として、公共施設のあり方を考えるために、この「湖南省公共施設白書」を活用することでご理解を深めていただき、ご協力をいただきますようお願いいたします。



平成 27 年（2015 年）3 月

湖南省長 谷畑英吾